「静かな存在感」

albase fitbase & (A)T) I The A









「空間に溶け込むこと」と「機能を果たすこと」

空間をつくる最も基本的な要素「壁」。そして、その壁を保護する「巾木」。 これまで、既成の巾木は壁を保護するという役目を十分に果たしてはいたものの、 デザイン性という面ではあまり注意を払われてきませんでした。

アルミ巾木シリーズ albase・fitbase はリビングルーム、キッチン、玄関周りなど、 あらゆる空間の壁をきれいに整え、家そのものを美しく仕上げてくれます。

今、巾木に求められていること。それは空間に素直に調和する静かな存在感です。

albase 極小アルミ巾木

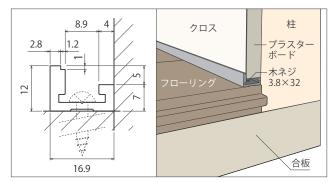


施工方法・取付イメージ

従来の巾木と異なり、プラスターボードを取り付ける前に albase を床材に固定し、 albase の上にプラスターボードをのせる工法になります。この工法により、巾木が 床から浮くことを防ぎます。

※床材について

本製品は木質系床材へ取り付ける設計となっておりますので、タイル・石材系の 床材に取り付ける場合には、巾木の下に木下地が必要になります。



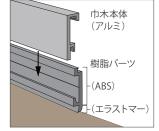
fitbase 後付アルミ巾木

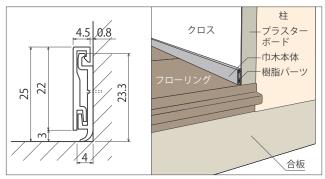


施工方法・取付イメージ

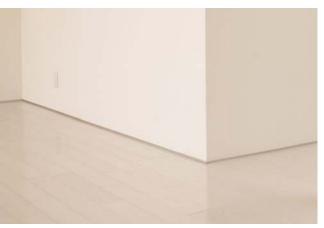
まず樹脂パーツを壁にタッカーで固定します。 この際に、樹脂パーツの柔らかいエラストマーが、 床の凹凸を吸収します。

樹脂パーツを固定後、巾木本体を上からパチン とはめ込みます。











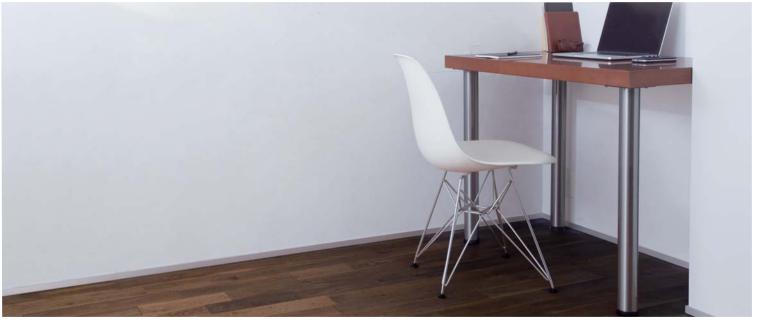




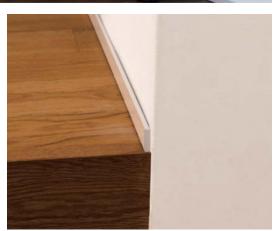
わずか 12mm

従来の巾木は床からの高さが 30mm - 60mm で、巾木としての機能は十分に果たすものの、その目立つ存在故に、巾木をあえて設置しない住宅などがありました。しかし、巾木は壁を保護するという重要な役割を担っているため、その機能を果たしながらも目立たない新しい巾木が求められていました。albase は高さわずか 12mmの巾木です。そのため、部屋全体を眺めたときに巾木の存在を忘れるような感覚を味わいます。また、12mm というわずかな高さにも関わらず、掃除機などの衝撃からも壁を保護してくれます。

fitbase 後付アルミ巾木











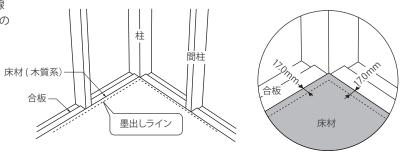
床面のゆがみ、凹凸への対応

空間の顔となる床材は、上質なインテリアを作るため色や形も様々です。従来、アルミ巾木が苦手としていたこの凹凸のある床面との調整も、樹脂パーツと組み合わせることによって解決しました。この fitbase は、樹脂パーツに巾木本体を装着させる形を取っているため、巾木本体が直接床に触れず、凹凸の影響を受けにくい構造になっています。

albase 極小アルミ巾木

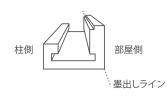
1. 墨出し(取り付け位置の確認)

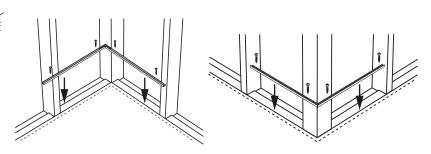
下地材より 17mm の位置に墨出し線を引いてください。この位置が巾木の部屋内ラインになります。



2. コーナー部材の取り付け

コーナー部材を(出隅・入隅部材)を墨出し ラインに合わせ、同封のネジで固定してくだ さい。

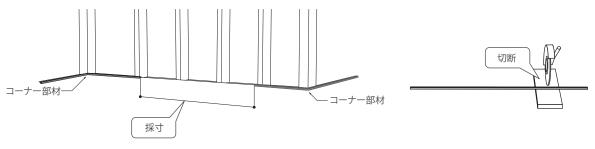




3-1. 直線部材の取り付け

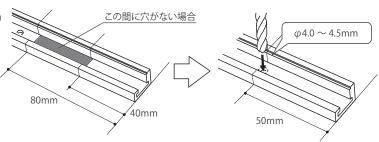
コーナー部材の内々寸法を計測し、直線部材を切断してください。

※ 部材の切断はアルミ用のチップソーをご使用ください。 また、切断時にバリが生じた場合は、ヤスリ掛け行ってください。



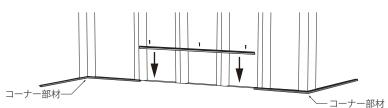
3-2. 直線部材の取り付け

直線部材を切断後、取付用の穴が端より 40 \sim 80mm の位置にない場合は、端より 50mm の位置に取付の穴 (ϕ 4.0 \sim 4.5) をあけてください。



3-3. 直線部材の取り付け

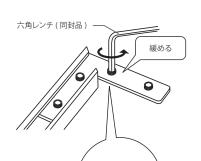
直線部材を墨出しラインと両端のコーナー部材に 合わせ、同封のネジで固定してください。



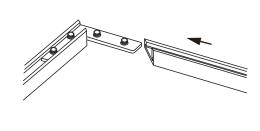
- コーナー部材の組み立て-

出隅部材L・入隅部材Lは組み立てが必要になります。

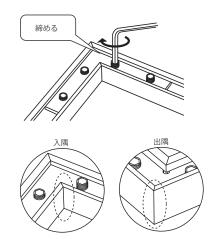
①ネジが底面から出ないように 同封のレンチで緩めてください。



②片方に固定したプレートに 部材を差し込みます。

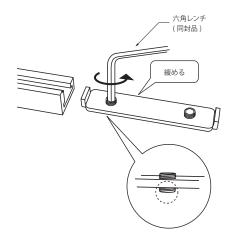


③室内側の止め切り部分に隙間が出ない ように調整して固定してください。

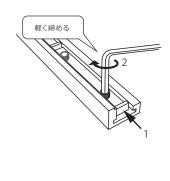


※別売りのコーナージョイントを使用し、現場に合わせた直角コーナーを製作することもできます。

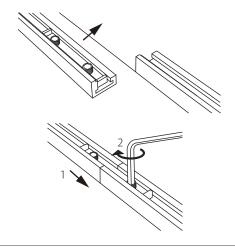
- 直線ジョイントの取り付け -



①ネジが底面から出ないように緩めてください。 ②直線ジョイントを直線部材に差し込み、動 ③直線部材を両端のコーナー部材に合わせ、直線 かない程度に同封のレンチで締め付けを 行ってください。

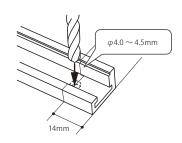


ジョイントを両部材の中央にスライドさせ、 両部材が一直線に揃う位置でネジを締め固定 してください。

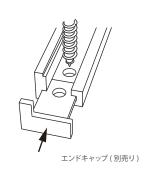


- エンドキャップの取り付け -

①部材の端から14mmの位置に φ 4.0 ~ 4.5mm の穴をあけて ください。



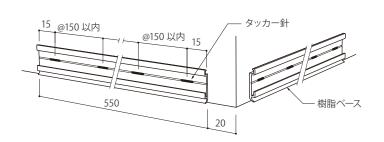
②エンドキャップを部材に差し込み、 付属のネジで固定してください。



fitbase 後付アルミ巾木

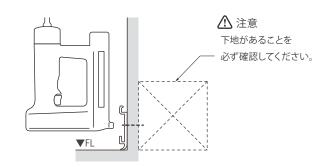
1. 出隅部材・樹脂ベースの取付位置の確認

取付位置を確認してください。出隅部材のパーツが干渉しないように、 端から20mm程度の隙間を開けてください。



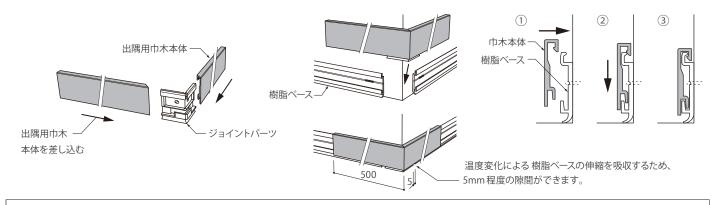
2. 出隅部材・樹脂ベースの取付

樹脂ベースをエアタッカーで取り付けてください。

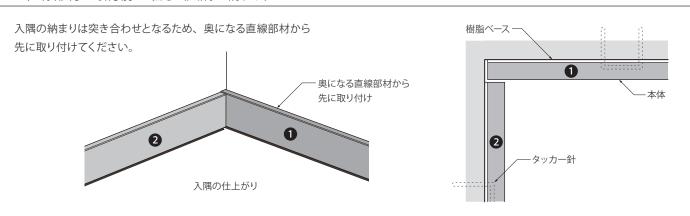


3. 出隅部材の取付

出隅部材を組み立て、樹脂ベースに取り付けてください。

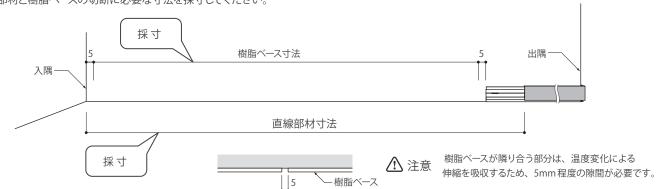


4. 直線部材・取付前の確認(入隅の納まり)



5. 直線部材・本体および樹脂ベースの採寸

直線部材と樹脂ベースの切断に必要な寸法を採寸してください。



6. 樹脂ベースの切断

7. 直線部材の切断

カッターや切断機等で採寸した寸法に切断してください。

直線部材を採寸した寸法に切断してください。

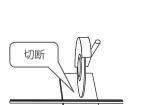




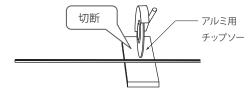
①半分ほど切り込みを入れる。



②切り込みを中心にして折り割る。



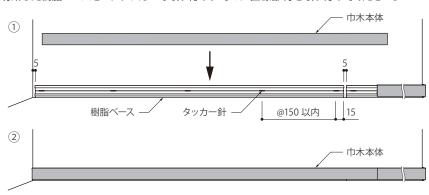
切断機の場合

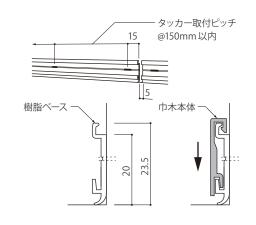


- ・切断にはアルミ用のチップソーをご使用ください。
- ⚠ 注意 ・切断後に生じたバリにはやすりを掛けてください。
 - ・端部は鋭利になっているため、けがをしないよう 取り扱いには注意してください。

8. 直線部材の取付

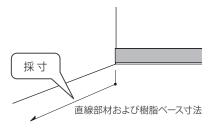
切断した樹脂ベースをエアタッカーで取り付け、そこに直線部材を取り付けてください。



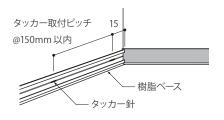


9. もう一方の直線部材の取り付け

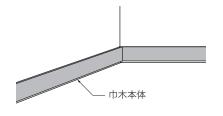
同じ要領でもう一方の直線部材を取り付けてください。



①直線部材および樹脂ベースを採寸し、 切断する。



②切断した樹脂ベースをエアタッカー で取り付け。



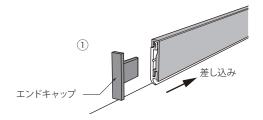
③切断した巾木本体の取り付け。

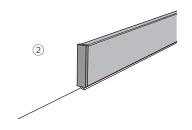
10. エンドキャップの取り付け

巾木の端部にエンドキャップに取り付けてください。









albase 極小アルミ巾木

概要 (コード)	直線部材 (AL36T)	出隅部材L (AL50D)	出隅部材S (AL15D)	入隅部材L (AL50I)	入隅部材S (AL15I)		
寸法 (mm)		16 Jan 1 500	150	500	23/150		
	12×16.9×3600	12×16.9×500	12×16.9×150	12×16.9×500	12×16.9×150		
定価	¥30,000/ 梱 <6 本入り>	¥9,000/梱 <2ヶ入り>	¥8,000/梱 <2ヶ入り>	¥9,000/梱 <2ヶ入り>	¥8,000/梱 <2ヶ入り>		
材質	アルミ(巾木本体)、ステンレス(コーナージョイント)						
付属品	木 ネジ (3.8×32)×66 ← ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	木ネジ (3.8×32)×8	木ネジ (3.8×32)×4	木ネジ (3.8×32)×8	木ネジ (3.8×32)×4 (
		コーナージョイント (AL11J)	コーナージョイント (AL11J)	コーナージョイント (AL11J)	コーナージョイント (ALIIJ)		
備考	取付穴は 350 ピッチ になります。	/ックダウン方式です。 止めネジによる組立が 必要となります。	-	/ックダウン方式です。 止めネジによる組立が 必要となります。	-		
概要 (コード)	直線ジョイント (AL10J)	コーナージョイント (AL11J)	エンドキャップ右 (AL20ER)	エンドキャップ左 (AL20EL)	木ネジ (AL30N)		
寸法 (mm)	六角穴ビス 4.5 60	大角穴ビス 2 2					
	12×60×4.5	12×50×2.0	12×16.9×22	12×16.9×22	3.8×32		
定価	¥ 700/ 個	¥ 800/ 個	¥ 600/ 個	¥ 600/ 個	¥1,250/SET <50 本入り >		
材質	ステンレス(直線ジョイント、コーナージョイント、エンドキャップ)						
付属品	六角レンチ (2.5mm)	六角レンチ (2.5mm)	木ネジ (3.8×32)×1	木ネジ (3.8×32)×1	-		
備考	直線のジョイント部に使用 するとネジ締結時の位置 ズレ防止となります。	直角コーナーを現場にて 切断された場合に使用する と、コーナー部材を制作する ことができます。	-	-	直線部材をカットして割付 されますとネジが不足いた します。追加でご購入ください。		

albase 注意事項

設計上の注意

・本製品は木質系床材へ取り付ける設計となっておりますので、タイル石材 系の床材に取り付ける場合には、巾木の下に木下地が必要になります。

施工上の注意

- ・本製品はアルミ形材です。製品の切断はアルミ用のチップソーをで使用ください。
- ・切断後に生じた製品のバリにはヤスリを掛けてください。
- ・ジョイント部に段差が生じないようにしてください。段差が生じますと断面 が露出し、事故・けが等の原因となります。

ご注文時の注意

- ・全て受注生産となりますので、納期についてはお見積り時にご確認ください。 目安としてご注文から約1週間となります。
- ・構造、工法によっては取付できない場合がございますので、ご注意ください。

コーナーの施工について

- ・出隅部材、入隅部材にはコーナージョイント (AL11J) が含まれます。
- ・コーナーの施工には出隅部材、入隅部材をご注文頂くと施工がスムーズになります。また、それらの部材をご購入頂かなくても、直線部材(現場切断)と別売のコーナージョイント(AL11J)を組み合わせてコーナー部材を現場で制作して頂くこともできます。

fitbase 後付アルミ巾木

概要 (コード)	直線部材 (FT36T)	出隅部材 (FT50D)	エンドキャップ右 (FT20ER)	エンドキャップ左 (FT20EL)
寸法	1800	5550	773	22.3
	巾木本体 22×4.5×3600 樹脂ベース 23.3×4×1800	出隅部材 22×4.5×500 樹脂ベース 23.3×4×550	22.3×5.2×17	22.3×5.2×17
定価	¥28,000/梱 <本体6本入り> <樹脂ベース12本入り>	¥16,000/ 梱 <出隅部材 4 組入り> <樹脂ベース 8 本入り>	¥1,200/ 個	¥1,200/ 個
材質	アルミ(巾木本体)、ABS(樹脂 エラストマー		ABS plus	ABS plus
付属品	-	出隅ジョイントパーツ	-	-
備考	-	ノックダウン方式です。 出隅用巾木本体を 付属のジョイントパーツに 差し込む仕様となります。	-	-

fitbase 注意事項

施工上の注意

- ・巾木本体はアルミ形材のため、切断にはアルミ用のチップソーをご使用ください。
- ・切断後に生じた製品のバリにはヤスリを掛けてください。
- ・端部は鋭利になっているため、けがをしないよう取り扱いには注意してください。
- ・壁面にエアタッカーを打ち込む際は下地があることを必ず確認してください。
- ・ジョイント部に段差が生じないようにしてください。段差が生じますと断面が露出し、事故・けが等の原因となります

ご注文時の注意

- ・全て受注生産となりますので、納期についてはお見積り時にご確認ください。 目安としてご注文から約1週間となります。
- ・構造、工法によっては取付できない場合がございますので、ご注意ください。



morita 森田アルミ工業株式会社 599-0201 大阪府阪南市尾崎町 530-1 Tel 072-480-1400 Fax 072-480-1414 URL www.moritaalumi.co.jp